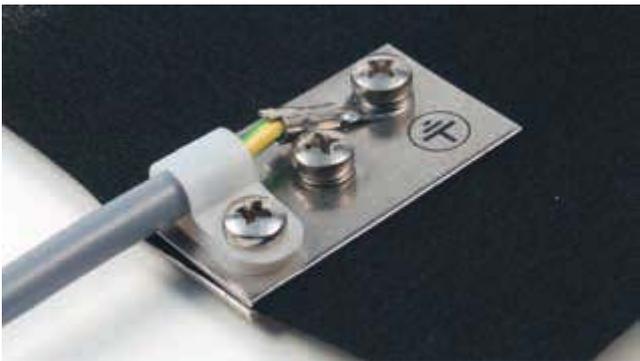


導電性シート << ルーベン 【RL95】



- 室内用極低周波電場（界）シールド材
- 壁・天井・床の中の電気配線などから発生する低周波交流電場（界）シールドクロス（欧州では、電磁波低減住宅用帯電（電場）防止対策として多数の施工実績あり）
- 導電性炭素繊維シールド材
- 加工及び施工が容易
- 破れにくい素材

天井、床、及び壁内の屋内配線から発生している低周波電場（界）を「ルーベン」で覆い、アース（接地）を取ることで、帯電（発生電場）を大きく減らすことができます。（但し、必ずアースを取ることが必要です）



※注意

- 建築物アース工事には電気工事士免許が必要
- 室内施工用。建物の外壁など、屋外領域では使用できません。

推奨関連商品



AEB30 導電性粘着テープ



EGP 室内専用アースキット

仕様

幅	: 95cm ± 2cm
色	: 黒
重量	: 50g/m ² ± 10%
厚さ	: 0.48mm
組成	: ポリエステルフリース ポリアクリル酸塩 カーボン
導電率	: ~1500Ω/□
接触抵抗率	: ~500Ω
最大引張強度	: 縦160 N/5cm
破断伸び率	: 縦20%
耐久熱負荷温度	: 225℃ (パーマネント) 90℃
特徴	: 蒸気透過性
減衰率	: >99.9% (アース必須)

施工説明

1. 電磁波シールドを施す下地の壁・床・天井をきれいにし、乾燥状態にします。
2. ルーベンRL95をシールドする壁や床の大きさ（高さ）に合わせて、カットします。（カットする際は、きれいな台やテーブル上でおこないます）

自由施工

- 最初のRL95①（図①参照）を下地にはり、次にRL95②（図①参照）を貼り合わせます。（タッカーで固定する）この時、RL95①の右側の端を5cm、RL95②に重ね合わせます。同様にRL95②とRL95③も重ね合わせます。（図1参照）
- RL95①とRL95②の重ねた部分に導電性電磁波シールド粘着テープAEB30（30mm巾）を縦に貼ります。（図2参照）
- 横方向にも重ねた部分全てに同様にテープを貼ります。（図2参照）
- 室内専用アースキット：EGPを最後に貼り付けたRL95上テープに取り付けます。（図3参照）

固定施工

接着剤方法で施工します。エマルジョンタイプ接着材を使用します。（図の参照なし）

接着法

ハケまたはローラーを使用して、接着剤をRL95には均等に、下地には厚くならないように塗布します。ロール状のRL95①を接着剤に付けて広げます。壁紙用ローラーや軟らかいハケを使用して、気泡が生じないようにして貼り付けてください。次にRL95②を重ねて張ります。

3. アース取り付け

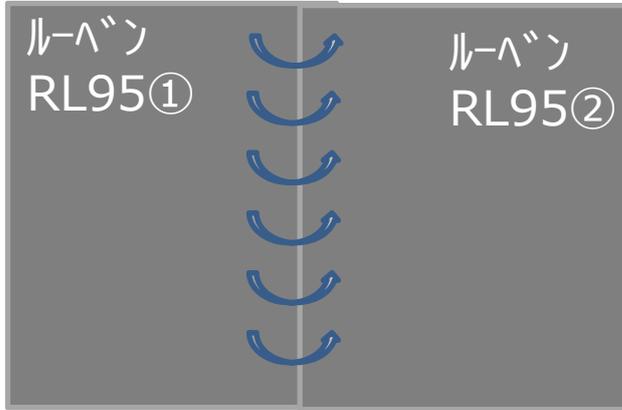
- アースを取る為、導電性電磁波シールド粘着テープAEB30（30mm巾）を貼ります。（図2参照）
- 室内専用アースキット：EGPをRL95も接続します（電氣的に連続するようにします）。室内専用アースキットのアースケーブルをアースをとるのに必要な長さのアースケーブルにつなぎ、アース口に接続します。（図3参照）
- 注意：施工上シートの重ねた部分が離れてしまう場合は、その都度アースケーブルの取付とアース口への接続を行います。

RL95施工 – 補足説明図

(部分的に拡大表記しております。)

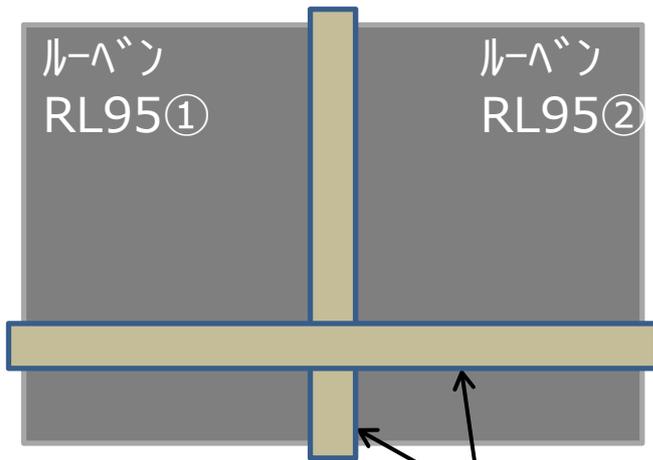
また、2枚以上を張り合わせる場合は下記を繰り返して下さい。)

図
1



- ル-ハンRL95①とル-ハンRL95②をボードなどに約5cm重ねてはる。
- ツッカーで固定する。

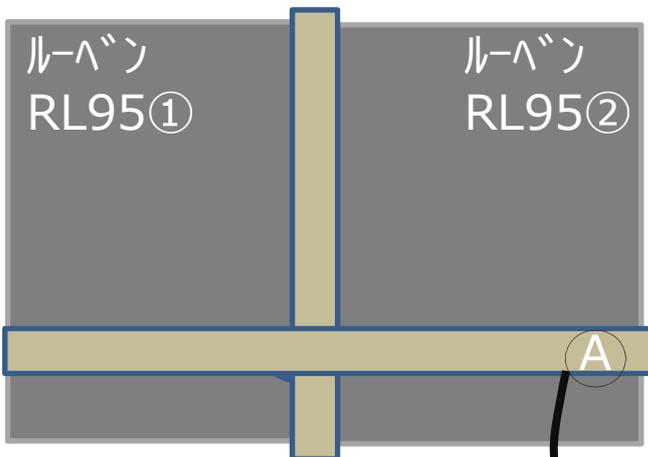
図
2



- ツッカーで固定した部分（ル-ハン①と②を重ねた部分）に、縦に
- 導電性電磁波シールド粘着テープ（AEB30）を重ねた部分に貼ります。
- 次に導電性電磁波シールド粘着テープ（AEB30）を横に貼ります。

導電性電磁波シールド粘着テープ（AEB30）

図
3



- 室内専用アースキット：**EGP** (A) を導電性電磁波シールドテープ（AEB30）上に取り付ける。
- EGPのアースケーブルをアース口へ接続してアースをとる。

EGPアースケーブル

アース口へ



ルーベン施工前
裁断

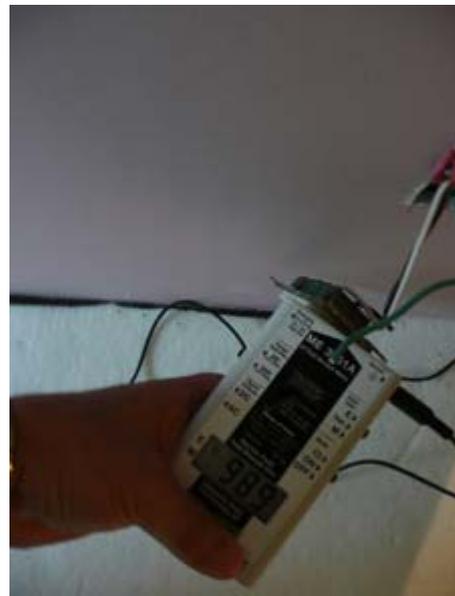


ルーベンを
壁に施工



ルーベン上に
ボード施工

ボード上の電界を低周波測定器で確認
989V/m から 5V/mと減衰



施工前
989 V/m



施工後
005 V/m